

【事務事業調査】

事務事業名	とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業			予算科目	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
				コード	001-06-02-01-003-01-02-0
担当部課	建設産業部 産業課	担当	当農支援係	事業の分類	既存事業
		係長	熊田 彰夫		

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	<p>H23 事後評価</p> <p>①元気あつぷむら自然の森の里山2haの間伐及び、材の運び出し等を行いました。 ②森林教室の一環として県産間伐材を利用した貯金箱づくり体験等を行いました。 ③元気あつぷむらに県産材を使用した木製遊具を設置しました。 ④間伐材をチップにし、元気あつぷむら自然の森内に歩道を整備しました。 ⑤エコ・ハウスたかねざわが事業主体となり、小学生及び保護者を対象に「マイ箸」作り体験を行いました。「地域における木の良さ普及啓発や木の利用促進事業交付金」として事業主体に交付しました。</p> <p>H25 事前評価</p> <p>「とちぎの元気な森づくり県民税交付金」を活用し、住民の皆さんが広く森づくりに参加できるよう、ボランティア並びに地元企業との連携によるサギノヤ地区1.44haの里山整備、森林環境学習や木工体験など行います。</p>	<p>森林づくりに参加する機会を設けることで、住民に森林が持っている公益的機能や保護保全について理解と協力が図られ、元気な森を次の世代に引き継ぐことができます。</p>
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
里山整備実施面積	1.44ha		平成20年度実施面積：1.88ha (サギノヤ地区) 平成24年度実施予定面積：1.86ha (自然の森) 平成21年度実施面積：2.01ha (サギノヤ地区) 平成22年度実施面積：2.06ha (自然の森) 平成23年度実施面積：2.02ha (自然の森)

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 報償費	240	ボランティア謝礼 @2,000×20=40,000 講師謝金 @10,000×20人=200,000
2 消耗品	520	スプレー、軍手、ロープ等 20,000 樹木(中) @8,000×10=80,000 樹木(小) @4,000×30=120,000 森林教室用消耗品(材料費) 300,000
3 燃料費	10	草刈機、チェーンソー用混合ガソリン @140円×70ℓ
4 食料費	50	作業時お茶代 @110×70=7,700 作業時贈り代 @600×70=42,000
5 修繕料		
6 使用料及び賃借料	300	機械貸借料(チップper@5,000×56h) 運搬費 20,000
7 工事請負費	300	歩道造成等
8 委託料	1,430	管理保全下草刈委託 7.95ha 397,000 伐採業務(大木) 352,000 製材・歩道敷き均し等 500,000 看板製作 181,000
9 交付金	800	森づくり活動地域支援事業交付金(ふるさと未来Sou) 300,000 地域における木の良さ普及啓発や木の利用促進事業交付金(ふるさと未来Sou) 500,000
10		
	3,650	

■事業費(実績)

【単位:千円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【千円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	3,650		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金	3,637		元気な森づくり推進市町村交付金
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	3,637		
	差引(一般財源)	13		

■補助金等名:森づくり活動地域支援事業交付金

■補助事業者等:特定非営利活動法人ふるさと未来Sou

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント	
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	4	県産間伐材を利用した貯金箱づくりなどをイベント時に行うことや元気あっぷむら自然の森に植樹を行う事業では参加者を公募により募集するなど特定の個人、団体が利益を受ける事業ではないし、事業の波及効果も期待できる。
		■町全体に波及効果が期待できる。		
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	4	地域経営計画の林業を通じ、環境施策である自然環境の保全と創造とリンクし、町民ニーズに即しています。社会動向を展望した先見性はあるものの発展性は今後、検証する必要があると見られる。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	3	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	5	既存団体(NPO)が実施する事業で、活動の阻害はない。また、実施にあたっては公募等で取り組んでおり受益機会は均等です。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	4	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	4	明確な目的、方法により実施されるもので具体性がある。なお、多くの人達に体験してもらいたので、予算の見積りが難しい。
		■予算の見積りが適正である。	3	
5	適格性	■実施体制が明確である。	4	実施体制は明確であるが、事業目的の啓発に繋がっていくか確認していく必要があります。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	3	
合計点数		38		
総合評価		継続		

■補助金等名:地域における木の良さ普及啓発や木の利用促進事業交付金

■補助事業者等:特定非営利活動法人ふるさと未来Sou

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント	
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	4	事業として「マイはし」作りに取り組み、参加者を公募により募集するなど特定の個人、団体が利益を受ける事業ではないし、事業の波及効果も期待できる。
		■町全体に波及効果が期待できる。	4	
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	4	地域経営計画の林業を通じ、環境施策である自然環境の保全と創造とリンクし、町民ニーズに即しています。社会動向を展望した先見性はあるものの発展性は今後、検証する必要があると感じられる。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	3	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	5	既存団体(NPO)が実施する事業で、活動の阻害はない。また、実施にあたっては公募等で取り組んでおり受益機会は均等です。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	4	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	4	明確な目的、方法により実施されるもので具体性がある。なお、多くの人達に体験してもらいたので、予算の見積りが難しい。
		■予算の見積りが適正である。	3	
5	適格性	■実施体制が明確である。	4	実施体制は明確であるが、事業目的の啓発に繋がっていくか確認していく必要があります。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	3	
合計点数		38		
総合評価		継続		